

## 令和6年度 東京都立七生特別支援学校 学校経営報告

現代は、変化が激しく物事が多様化複雑化し、将来の予測が困難な時代であると認識している。令和5年6月に国が策定した教育振興基本計画では、この時代認識に基づき、これからの教育が進むべき方向性について、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の2つのコンセプトが必要であると提言している。

今年度、本校ではこれらのことを鑑み、「自立したリーダーとして社会に貢献する人材を育成する学校」、「本校関係者のウェルビーイングの向上により、信頼され、親しまれ、やりがいをもてる学校」の2点を目指す学校像として掲げ、これからの時代に求められる人材の育成とこの時代に相応しい学校づくりに取り組んできた。以下に今年度の学校経営の状況について報告する。

### I 今年度の取組目標等に関する自己評価

目標達成度(%) S: 目標以上の成果があった A: 目標を達成した。 B: 概ね目標を達成した  
C: 目標を達成しなかった D: 目標や具体的方策の設定に改善が必要である

#### 1 安全で安心な教育環境の整備

- (1) 学校事故、感染症、自然災害等に係る危機管理対策の推進【全教職員、生活指導部】 A
- ア 事故防止週間の設定(毎月第3週)、全校安全ケース会議(年2回)、事故防止研修やヒヤリハット・アクシデント報告(職員朝会、企画調整会議等)を活用した安全管理意識の向上
  - イ ガイドラインに基づく感染症対策の徹底(12月に中学部2年学年閉鎖措置実施)
  - ウ 関係機関との連携による多様な訓練・研修の実施による教職員の対応力の向上
  - エ 敷地内環境整備及び安全対策の実施(安全点検月1回、裏山の枯れ木伐採の推進)
  - オ 避難所運営マニュアルを活用した訓練の実施(7月に災害支援コーディネーター招聘)
- (2) いじめ、服務事故の根絶【全教職員、生活指導部】 C
- ア いじめ防止基本方針に基づく学校いじめ対策委員会や学校サポート会議開催(年3回)  
いじめ認定1件については、両者の話し合いにより解決。
  - イ サービス事故ゼロ件。(サービス事故防止研修年4回、聞き取り面接1回)
- (3) スクールバスの安全な運行の徹底【全教職員、生活指導部、安全運行支援員】 A
- ア ガイドラインに基づく乗降車確認の徹底(通年)、保護者懇談会の活用(年2回)
  - イ 運行会社や乗務員との円滑な連携(通年)、乗務員対象スクールバス会議の実施(月1回)
- (4) 適切な保健管理、保健指導及び安全な給食の推進【全教職員、保健給食部、栄養士】 A
- ア 保護者との連携による事故防止の徹底(服薬、アレルギー、食形態)、療育相談による児童・生徒、保護者支援(月1回)、保健だより、給食だよりの発行による理解啓発(月1回)
  - イ サービス事故防止研修会等を活用した対応力向上(エピペン操作、心肺蘇生法)、保健関係事故ゼロ
  - ウ サービス事故防止に向けた環境整備の徹底(AED作動確認(毎日)、WBG T確認(夏期のみ毎日))
  - エ 児童・生徒の興味・関心のある掲示物を活用した積極的な保健指導の推進(随時)
  - オ 給食委託業者との円滑な連携(連絡会月1回)、専門家による学校保健委員会(年2回)、
  - カ 学校医、都教委との連携による感染症への適切な対応(学年閉鎖措置1件)
  - キ 保護者や指導医等との連携による医療的ケアの安全な実施(医療的ケア委員会実施)

## 2 人権を尊重し、個々の教育的ニーズに応じた教育の推進

- (1) 一人一人の状況に応じた人権を尊重する教育の推進【全教職員、学部】 **B**
- ア 人権に配慮した呼称、態度及び言葉遣いの徹底（巡回指導、人権研修、聞き取り調査）
  - イ 根拠のある説明責任を果たすことができる指導の徹底（アセスメントに基づく個別指導計画の作成・実施・評価）（保護者満足度98%）
  - ウ 個々の状況に応じた指導、教材作成及び学習環境の整備の徹底（学習環境の構造化、視覚支援の徹底、外部専門員によるアセスメント実施及び助言385回、研究授業の活用131回）
  - エ 教育活動全体を通して行う道德教育の充実、命や思いやりを大切にする心の指導（日常生活の指導、ホームルーム活動）
- (2) ★デジタル技術を活用した教育の推進【全教職員、ICT部】 **B**
- 生活年齢や障害特性に応じたICT機器及びデジタル教材を活用した指導の推進（授業における児童・生徒の端末使用率85%）
- (3) 教育課程の適切な編成、実施、管理の推進【中高作業学習充実・地域連携プロジェクト】 **B**
- ア 中学部及び高等部の作業学習の連携・充実（七特版「育成したい働く力」「育成したい働く意欲」を活用した授業改善、外部専門員の活用）
  - イ 高等部理科・社会の充実（シラバス作成・活用、日野市郷土資料館学芸員の活用）
- (4) 安全な学校生活のための指導の推進【学部、生活指導部】 **A**
- 発達段階に応じた一人通学指導の促進（一人通学書作成、随時）
- (5) 一人一人に応じた自立と社会参加を見据えたキャリア教育の推進【全教員、進路指導部】 **B**
- ア 学級指導における係活動を活用したリーダーシップの育成
  - イ 希望進路の実現に向けた進路指導の充実（就業体験、現場実習、企業就労率16%）
  - ウ 日野市選挙管理委員会を活用した主権者教育の推進（模擬選挙の実施）
  - エ 自己肯定感や自己効力感を育む指導の推進（地域貢献活動、各種検定38名受験、表彰、レインボーギャラリーの活用、係活動、生徒会活動、部活動、地域向けカフェ来客者403名）
  - オ ロールモデルとして人権に配慮した言動、さん付け呼称、語先後礼の挨拶の励行（毎日）
- (6) 心身の健康の保持増進や体力向上及び事故防止の徹底【学部、保健室、体育科、栄養士】 **B**
- ア 担任と保健室の連携による児童・生徒の健康管理の推進（毎日）
  - イ 体育的活動を通じた体力の向上（体力テストの活用）
  - ウ 食育及び健康指導の推進（給食便りの活用、健康診断、歯科保健指導、学校保健委員会）
  - エ SNSの適切な使用、薬物乱用防止など健全育成に関する教育の充実（薬物乱用防止教室、日野警察署との連携）
  - オ 外部専門家の活用（がん教育（高1）、口腔機能アセスメント12名）
  - カ ガイドラインに基づく安全な体育活動、部活動の実施及び事故発生時の適切な対応の徹底
- (7) ★読書活動及び図書室の充実【読書活動及び図書室充実プロジェクト】 **A**
- ア 図書購入及び図書室の構造化推進、図書貸出システムの活用（システム登録1600冊以上）
  - イ 全学年による推薦図書紹介、お話し会（高幡図書館）、図書委員会活動、図書貸出数850冊

## 3 社会に開かれた学校づくりの推進

- (1) 保護者や七生福祉園との連携の推進【学部、支援部、福祉園連絡協議会】 **A**
- ア 保護者や七生福祉園との連携による個別指導計画の作成、実施及び評価（個別面談、外部専門員によるアセスメント、授業参観）
  - イ 児童・生徒の状況の共通理解と相談機能及び支援の充実（教育相談、校内支援連絡会、外部専門員の活用）
- (2) ★情報の積極的な発信による理解啓発の推進【ICT部、進路指導部、学部】 **A**
- ア ニーズに応じた情報の発信（各種通信、ホームページ、学校公開等）
  - イ 保護者や福祉園への進路に関する情報提供（保護者満足度94%）

- (保護者会、進路先見学会及び進路講演会、進路便り、進路個別面談、進路情報室の活用)
- (3) ★特別支援教育のセンター的機能の推進【支援部、特別支援教育コーディネーター、学部】 A
- ア 関係小・中・高等学校との交流及び共同学習の実施(小学校2校、中学校1校、高等学校1校との交流、障害者スポーツの活用、出前授業、交流教育連絡会2回、副籍直接交流38名)
  - イ 市内小・中学校への支援24回
  - ウ 都立高校における発達障害教育の推進に向けた支援(地区情報交換会、支援7校9課程)
  - エ 日野市との連携(就学支援委員会、研修・相談等支援、各部事業支援、短期人事交流)
- (4) ★地域資源や外部人材の活用による教育の推進【進路指導部、支援部、総務部、経営企画室、中高作業学習充実・地域連携プロジェクト】 S
- ア 生活支援機関及び就労に関わる機関との連携の推進(学校生活支援シート等の作成、支援会議、放課後等デイサービス事業所連絡会、事業所説明会、日野市内福祉事業所連絡会)
  - イ 都立学校開放事業による生涯教育への支援(本人講座、施設開放)
  - ウ 学生インターンシップの受け入れ(明星大学)、学生ボランティア受け入れ(帝京大学)
  - エ 帝京大学教育学部学生と本校教員との懇談会、高等部作業班活動の拡充(帝京大学八王子キャンパス内における出張カフェ販売活動、多摩療護園内施設の清掃活動、湯沢福祉センター置き花鉢)

#### 4 教職員の専門性向上及びミドルリーダー育成の推進

- (1) ★知的障害教育の専門性及び授業力の向上【全教員、研究部、教科会、授業力向上・SOD推進プロジェクト】 A
- ア 教職員のニーズに応じた授業力向上動画のデータベース化及び活用(5月教職員のニーズ把握、動画撮影) ⇒ 動画150本、活用率60%、満足度76%
  - イ 障害特性に関する研修会(8/27外部講師招聘)、教職員研修センター主催研修会受講促進
  - ウ 各教科等のシラバスの完成(12月)
  - エ 新規採用教員校内研修18回実施
  - オ 教職員個々の電子教材の共有化(8月使用開始)
- (2) ★デジタル技術活用力の向上【全教員、研究部、ICT部、デジタルサポーター】 A
- ア 児童・生徒がICT機器及びデジタル教材を活用する授業の推進(研究授業131回実施)、保護者向けICT通信の発行(年4回)
  - イ 端末操作や活用に関する研修会(7/29外部専門員活用)
- (3) ★ミドルリーダーの育成の推進【管理職、主幹教諭】 A
- ア 主幹教諭のマネジメント力の向上(企画調整会議や主幹会議の活用、所掌部署の円滑な進捗管理の推進、取組目標進捗状況報告年2回(9月、1月))
  - イ 主任教諭のマネジメント力の向上(主幹教諭との連携による円滑な学部学年及び分掌部運営、担当主幹教諭による進捗状況報告随時、全校学年主任会開催(4月))
  - ウ 東京都教育委員会主催の研修会等の受講促進(学校リーダー育成特別講座1名、学校経営セミナー2名、学校マネジメント講座2名)

#### 5 適正で効率的効果的な学校経営の推進

- (1) 法令等に基づく厳正な服務規律の徹底【全教職員】(服務事故ゼロ実現) A
- ア 服務事故防止研修の活用による法令順守に対する意識の徹底(年4回実施《再掲》)
  - イ 人権に配慮した言動や挨拶の励行(毎日)
  - ウ 個人端末及び保有個人情報の適正使用・管理の徹底(マニュアルに基づく管理・点検の徹底)
- (2) ★主幹教諭及び経営企画室長を中心とした学校運営の推進【企画調整会議、主幹会議】 A
- ア ラインを活用した円滑な情報共有及び意思伝達による組織的な運営の推進
  - イ 企画調整会議及び主幹会議を活用した学校経営計画の具現化の推進(学校経営計画重点目標進捗状況確認年2回)

- (3) ★効率的効果的な業務遂行及び業務の精選による働き方改革の推進【全教職員、管理職、主幹教諭、安全衛生委員会】 B
- ア 週の指導計画及び会議録のデジタル化実現、会議運営の効率化、会議の端末活用率100%
  - イ 4S（整理、整頓、清掃、清潔）及びクリーンデスクの徹底、クリーンデスクデイ月1回
  - ウ 学校閉庁日（年5日）、マイ定時退庁日（週1日）、定時退庁ウィーク（夏季休業中1週間）の活用、休暇制度の積極的な活用によるライフ・ワーク・バランスの充実
  - エ 教職員の勤務時間外在校時間縮減の徹底（月45時間以内達成率80%）
  - オ 育児・介護支援及び休暇制度の活用の促進（男性教職員2名育休取得）
  - カ 教職員の健康管理の推進（安全衛生委員会年12回、職員健康診断等受診率100%）  
産業医による面接指導（超過勤務時間対象者、健康診断2次検診受検者、新規採用教員）
- (4) 経営企画室業務の円滑で適正な遂行と積極的な経営参画【経営企画室】 A
- ア 服務、予算決算、学事、給与、施設、給食等の各業務の円滑で適正な遂行
  - イ 就学奨励費研修会や事務処理等を通じた教員の経営企画室業務の理解促進
  - ウ 学校徴収金の適正な執行の徹底【学部主任、学年主任】
  - エ 自律経営推進予算センター執行率64%達成
  - オ 敷地内植栽の管理、害虫・鳥獣駆除、ごみの減量やリサイクル化推進、校内美化、雨漏り対策、施設維持管理等の業務を通じた学校環境保全の推進（樹木伐採による設備破損事故）
- (5) ★学校評価等の活用による学校運営の改善【学校運営連絡協議会事務局】 A
- ア 人権に配慮した指導に対する保護者満足度の向上（98%）
  - イ 個別指導計画に対する学校評価の保護者満足度の向上（98%）
  - ウ 学校情報の適時適切な発信に関する保護者満足度の向上（94%）
  - エ 児童・生徒の学校生活満足度の向上（97%）

## II 次年度の課題と改善策

### 1 安全で安心な教育環境の整備

- ・種々の危機管理対策の徹底、裏山の樹木管理
- ・いじめ、服務事故の根絶
- ・スクールバス1コース増加に伴う円滑な対応
- ・医療的ケアの安全な実施

### 2 人権を尊重し、個々の教育的ニーズに応じた教育の推進

- ・人権尊重教育の推進
- ・ICT機器及びデジタル教材を活用した指導の推進
- ・リーダーシップや考動力の育成

### 3 社会に開かれた学校づくりの推進

- ・ニーズに応じた情報発信
- ・百草団地自治会との連携の推進
- ・日野市福祉事業所連絡会の市への移行を見据えた開催
- ・帝京大学との教育連携の推進

### 4 教職員の専門性向上及びミドルリーダー育成の推進

- ・ミドルリーダーの育成
- ・学習指導案の改善による授業力向上

### 5 適正で効率的効果的な学校経営の推進

- ・法令等に基づく厳正な服務規律の徹底
- ・働き方改革の推進による教職員のウェルビーイングの向上